

漁業・農業体験を通じ海の環境づくりに励む村で唯一の中学校

農林水産大臣賞 青森県 蓬田村立蓬田中学校

陸奥湾に面した津軽半島に位置し、海と山に囲まれた自然豊かなロケーションが魅力の同校では、その環境や地場産業を生かした活動を行っている。もともと地域の美化意識が高く、住民達が村の名所である玉松海水浴場や玉松台の清掃活動を長年続けてきた。しかし高齢化が進み継続が危ぶまれる中、同校に協力依頼したのを機に2008年以降は、生徒といっしょに取り組む。毎年、海開きの前に開催し、全校生徒と老人クラブ、蓬田村漁協、婦人会、蓬田小学校など、総勢約150人が参加する村の一大行事だ。2班に分かれて、清掃場所の玉松海水浴場と玉松台の2か所を、交流しながら作業する。

海岸清掃では、活動時間内に終わらないほど漂着ごみの量が多く、住民からは中学生の参加を歓迎、頼りにする声上がる。一方の玉松台は、歴史的な価値が高く、村民の拠り所として地域に大切に守られてきた場所でもある。生徒は玉松台の歴史を住民から学んだ後に清掃することで、村民の一員としての自覚を持つようになった。

住民との連携が深まる中、2014年からは地域の基幹産業である漁業の体験学習を実施。漁協の協力の下、漁船で沖合に向かい、養殖ホタテの水揚げ体験を行った後、ホタテの選別法や生態を学び、刺身やバター焼きなどの調理に挑戦する。漁業が盛んな地域だが、漁船に乗ったことも港に行ったこともない生徒がほとんどだ。こうした体験を通じて、漁業という職業が身近にあることを実感。同時に、ホタテの養殖には海の環境づくりが大事であると再認識した。

また、蓬田村では農業も盛んで、トマトの産地として名高い。トマト栽培農家の協力により農作業体験する過程で、良い土と水が欠かせないことを学んだ生徒は、地域の美化活動が村の支えや活性化につながることを体感。蓬田村連合老人クラブ会長の小鹿秀敏さんは、「生徒が清掃する姿を見て、協力してくれる住民がどんどん増えています。これからも、蓬田の夢を託していきたい」と見守る。

同校は村で唯一の中学校で、生徒一人一人に寄せる住民の思いは熱い。この声に応えようと、生徒は地域の財産を守り抜くという強い決意で挑む。



青森県 蓬田村立蓬田（よもぎた）中学校

学校長：秋村 秀樹（あきむら ひでき）

生徒数：59名（2022年11月末現在）

住所：青森県東津軽郡蓬田村大字郷沢字浜田138

電話：0174-27-2038

アクセス：JR「郷沢駅」より徒歩数分

上：玉松海水浴場の漂着ごみを回収、2左：村民の拠り所である玉松台の歴史を教わりながら清掃に励む、2右：住民と協力して進める美化活動、3左：漁船に乗って養殖ホタテの水揚げ体験、3右：養殖カゴからホタテを取り出す
下：村の特産品で有名なトマト栽培・収穫体験